

World Vision

Thank You!

★ THANK YOU ★

THANK
You

Closure report 2021

終了報告書

マラウイ共和国

クーユ地域開発プログラム

MWI-182599 (2006年度～2021年度)



ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

教室1室あたりの
平均生徒数

2006年

2020年



119人

56人

安全で清潔な水に
アクセスできる人の割合

2006年

2019年



55%

92%

子どもの権利や保護について
教えられるようになった住民

2015年～2021年

500人



Education



教育

教育への関心が高まり、
就学率と地域住民の
識字率が向上しました

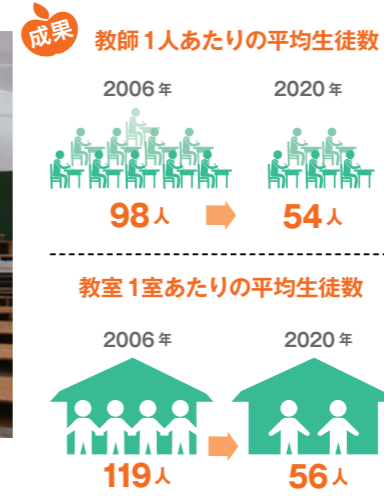
支援当初は、教師 1人あたりが担当する生徒数は平均 98人、1教室あたりの生徒数は 119人と、教師も教室も足りていませんでした。また、校舎や教員宿舎も老朽化していたため、子どもたちの学習は進まず、意欲は削がれ、中途退学する子が少なくありませんでした。支援を通じ、校舎や教員宿舎、トイレの建設・修復を行い、机、教科書、本の提供をするなど、環境整備をしました。現在では、教師 1人あたりの生徒数は平均 54人、1教室あたりの生徒数は 56人にまで改善されています。また、読書キャンプや、母親グループへの啓発活動、幼児学習センターの建設、教師への教授法の研修を行い、教育の質を高めることもできました。結果、小学校就学率は 63.8% (2015年) から 80% (2020年) にまで向上し、大学に進学する子どもたちも増えました。また、親の教育への関心も高まり、住民の識字率向上にも貢献しました。



支援前
古びた黒板以外、机も椅子もありませんでした



支援後
住民により提供された資材を用いて、新しい教室が作られました



マネージャーよりごあいさつ



クエー地域
開発プログラム
マネージャー
エラートン・タワニ

これまで長きにわたりご支援いただき、ありがとうございます。支援当初は、多くの子どもたちが空腹状態で、汚れた水が原因で病気になることも多くありました。また教育の質は低く、子どもたちは読み書きができませんでした。皆さまのご支援により、栄養改善、清潔な水の確保、教育支援などができました。子どもたちは、質の高い教育を受け、安全な水を飲み、地域住民に守られ安心して暮らせるようになっています。心から感謝いたします。以前のクエー地域のように、世界には、今も支援を待っている地域の子どもたちがまだまだいます。引き続きご支援いただければ幸いです。

Health



保健・ 栄養改善

COVID-19 含め、
さまざまな感染症から
子どもたちを
守れるようになりました

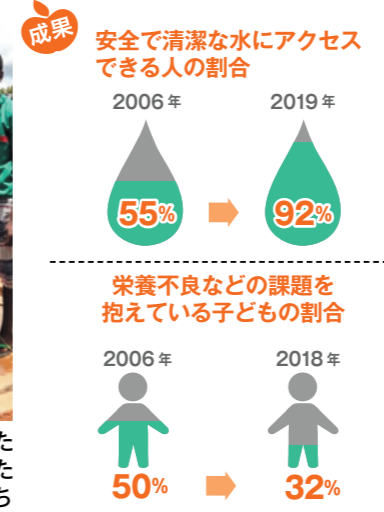
支援当初、地域には保健センターが 1つしかなく、スタッフは助産師兼看護師 1人しかいませんでした。不衛生な水が原因で感染症にかかる人も多くいました。支援を通して、HIV/エイズに関する研修や感染者へのサポート、予防接種の実施、保健施設の建設、井戸やトイレの整備、母子保健に関する啓発などを行いました。148人の保健ボランティアの育成により、定期的に住民の健康状態を確認できるようになっています。また妊産婦へのケアとして、健診や母乳育児の重要性、栄養価の高い食事の作り方について研修を行うこともできました。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対策として、地域のリーダーたちへの啓発やラジオを通じた情報提供を行い、地域住民が正しい知識を得、適切な感染予防策をとれるようになりました。また、保健施設や学校など 57カ所への塩素や消毒液の支援と手洗いの設置など、感染予防のための環境整備も行ってきました。今では、地域全体で感染予防に取り組むことができ、子どもたちの健康を守ることができています。



支援前
地域に唯一あった保健センター。マットレスがないベッドが 6つしかありませんでした



支援後
左：COVID-19感染対策のために設置された手洗い場で正しい手洗いの方法を学ぶ子どもたち / 右：建設された井戸で水を汲む子どもたち



Economic Development



生計向上

家族の収入と、
子どもたちの栄養状態が
改善されました

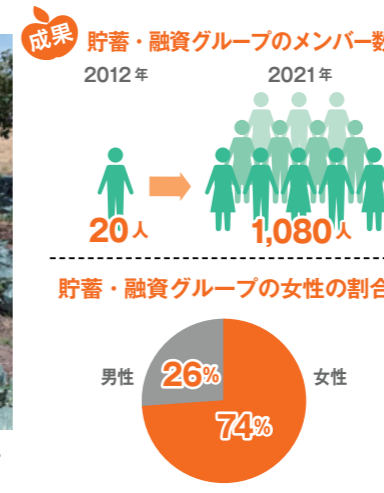
地域の 95%の世帯が農業から収入を得ています。しかし、単作により土壌が疲弊した上、肥料を買う資金や農業用具の不足のために不作が続いていました。支援を通して、堆肥の使用、環境にやさしい農法などの農法改善、農作物の多様化、貯蓄・融資グループの設立などを行い、農作物の種類と収穫量を増加させることができました。ヤギや乳牛の支援により、子どもたちは栄養価の高いミルクを飲むようになり、栄養状態が改善されました。また、子ヤギや子牛を売り、子どもたちの学用品や医薬品を買えるようになっています。また、農業協同組合の設立により、農家は共同で価格交渉を行い、より有利な条件で販売ができるようになりました。



支援後
子ヤギの支援を受けた世帯の子どもたち



支援後
小さな灌がい設備により、栽培できるようになった作物



地域代表者からのごあいさつ



村落開発委員会委員長
デクスター・
ングルウエ氏

クエー地域のためにご支援くださった皆さまに、地域を代表して、心から感謝いたします。ご支援により、木の下で勉強していた子どもたちは、教室で勉強できるようになりました。栄養不良や虐待で苦しんでいた子どもたちも、必要なサポートを受け、健やかに過ごせるようになりました。これらの活動の成果を私たち自身が今後も持続し、促進させていくために、教育、保健、農業などの分野で住民による委員会が立ち上がりました。研修を受けた各委員会メンバーは、地方政府と協力関係を築き、有意義な話し合いができるようになっています。これからは私たちが中心となり、この地域のために働いていきたいと思っています。誠にありがとうございました。

Child Protection



子どもの保護

地域住民一丸となって、
子どもの保護に
取り組んでいます

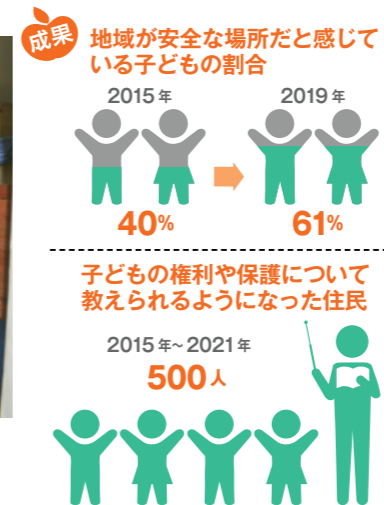
地域では、より良い収入を求め親が南アフリカに出稼ぎに行く例も多く、取り残された子どもたちは働かざるを得ず、貧困のために性的暴力や虐待などの危険にさらされていました。また、56.5%の住民が子どもの権利について知らず、子どもを早く自立させようと早婚も当たり前のように行われていました。支援を通じ、地域のリーダーを中心に子どもの保護委員会を設立しました。現在はメンバーたちが、親が結婚を強要している場合には考え直すよう説得し、虐待を発見した場合には警察にすぐに通報できるシステムが作られました。また、学校に女子寮を建設し、女の子が通学路で危険に遭うことなく、勉強に集中できるようになりました。さらに、約 500人の関係者に子どもの保護に関する研修を行ってきました。今では、彼らが主体となって住民に子どもの権利や保護の重要性を伝え、地域全体で子どもたちを守れるようになっています。



支援後
子どもの権利に関して話し合う若者たち



支援後
建設された女子寮内の様子



皆さまとともに歩んだ16年間の支援と成果

準備期
2006年度
▼
2008年度

- ◎ 事業対象地域での状況調査と、事業計画の立案、事業実施体制の整備
- ◎ 地域政府や住民との相互理解・関係構築
- ◎ 住民が無料かつ匿名でHIV/エイズ検査やカウンセリングを受けられる施設の建設と、予防のための啓発活動
- ◎ 小学校に教室や教員用宿舎の建設と、机を提供



地域リーダーの話し合いの様子



HIV/エイズグループでの裁縫研修

第1期
2009年度
▼
2012年度

- ◎ 教授法を学ぶ教師育成センター設立、小学校建設とトイレの整備
- ◎ 子どもたちへのより良い教育・学習のため、小学校16校と、中学校3校に教材を配布
- ◎ 感染症の早期治療を促進するために、84人の保健ボランティアを育成
- ◎ 260世帯の農家に、35袋の肥料、1,700本の果実の苗木などさまざまな農業資材を支援
- ◎ 440世帯の農家に土壌の質改善のための研修を実施



建設された教師育成センター



マラリア予防のために蚊帳を受け取った子どもたち

第2期
2013年度
▼
2015年度

- ◎ 55人の教員に、識字率向上のための教授法に関する研修を実施
- ◎ 17の読書キャンプを設立し、125人の男の子と175人の女の子が参加
- ◎ 27人の保健ボランティアを育成し、270世帯に医療支援を提供
- ◎ 政府への働きかけを通して、地域のヘルスワーカーを4人に増員
- ◎ 650世帯の農家に、肥料や苗木などの農業資材を2トン分支援
- ◎ 690人に、土壌と水の保全に関する研修を実施



保健ボランティアによる発育状況の確認の様子



貯蓄グループのメンバーたち

第3期
2016年度
▼
2021年度

- ◎ 203人の小学校教員に、識字率向上のための教授法と、教材作成に関する研修を実施
- ◎ 全19,323冊の教材を、小学校16校と、中学校3校に配布
- ◎ 37人の保健ボランティアを育成し、432世帯に医療支援を提供
- ◎ 3,506世帯の農家に、季節に応じた農作物の生産に関する研修を実施
- ◎ 65人の若者に、収入向上と自立を目的とした建設や洋裁等の職業訓練を実施
- ◎ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策として、保健施設や学校などの施設57カ所に塩素と消毒液、保健施設3カ所に20,000枚のマスクの提供
- ◎ 住民に啓発できるよう、地域リーダー、ボランティア、ヘルスワーカー対象のCOVID-19感染予防に関する研修を実施
- ◎ 69人の地域開発委員への能力強化研修、40人の地域代表者と事業終了に向けたミーティングの実施



COVID-19対策の一環で、距離の取り方を学んでいる子どもたち



幼児教育センターで、子どもたちは小学校に入る準備をできるようになりました

支援を受けたチャイルドのストーリー

皆さまのご支援と、家族のサポートのおかげで、
大学に進学することができました！

ブリジットさん
(23歳)

クーユ地域で育ったブリジットさん(23歳)は、現在大学で社会学の勉強をしています。支援を通じ、彼女の生活に起きた変化について話してくれました。

「ご支援により、弟たちは5歳になる前に予防接種を受けることができました。地域には診療所ができ、私たち家族の健康維持のために大きな助けとなっています。学校では教科書、参考書、ペンなどの支援を受けました。先生たちは正しい教授法を学んだので、私も勉強が楽しくなりました。また、母は地域の母親グループに参加し、そこで学んだことを活かし、カウンセラーとして働いています。私を含む地域の女の子に、学校で勉強する大切さを教えてくれ、成長に伴うさまざまな変化に対するサポートをしてくださいました」

また、大学進学を目指したきっかけは、ワールド・ビジョンのスタッフだったそうです。「ワールド・ビジョンのスタッフは、いつも励ましの言葉をかけ、私たちの勉強への意欲を高めてくれました。おかげで、私も大学進学のために努力し続けることができました。ご支援がなければ、勉強への意欲も出ず、学校の成績も上がらなかったと思います。このような素晴らしい環境を作ってくださったスポンサーの皆さまに、心から感謝いたします」

